

初開催で大盛況 大雪山ミュージックフェスティバル

6月29日と30日、せんとびゅあー内各所と芝生広場にて大雪山ミュージックフェスティバル2019（同実行委員会主催）が開催され、2日間で約2千人が来場しました。「フェス」とは様々なアーティストが複数の



の会場で同時に演奏する音楽の祭典のこと。せんとびゅあでは初開催です。Chara（チャラ）をはじめとした有名アーティストや、大雪レコード、ドートレトミュージーら町内ミュージシャン

が出演。30日に東川中学校吹奏楽部とコラボしたFUNKIST（ファンキスト）は、以前歌手・加藤登紀子さんのバックバンドとして来町。これまで東中と数回にわたり共演し、交流を重ねてき

ました。結成20年目に再び東川で演奏できることを喜び、「お客さんがみんなイイ顔で、それを見ながら演奏した子たちは、大人って楽しそうだな、早く大人になりたいな、東川

ステージな」と思ったはず。初めて音楽に出会った時のようにシンジんきた。また「こライブしたい」と熱いハートと演奏で観客を魅了。

無料エリアの芝生広場には17の飲食店ブースが出演。レジャーシートに座って野外ステージから流れる音楽にリズムを刻む人であふれていました。同実行委員会は「この好感触を受け、次回開催も検討中。ご期待ください！」

大切な自然を守るー大雪山アーカイブス講演会ー

7月6日、せんとびゅあにて『自然観光資源の利用と保護』を開催しました。講師は25年間大雪山に関わる（一社）大雪山・山守隊理事の山口和男氏。自然観光資源とは、大きな人為的改変がされていない海・川・山からの恵みで、観光に活用できるもの

と。高度経済成長くバブル崩壊後の90年代以降は「自然との共生時代」と言われ、環境基本法の制定など様々な法律の制定や改正から自然保護に対する姿勢の変遷を解説。「法律の制定は社会的合意にすぎず、直接的に環境は良くなるらない。今は我々が法律を活用し、

C-IR トーク ～冠婚葬祭～

6月29日、せんとびゅあII・体験室で第3回C-IR トークを行いました。今回は「冠婚葬祭」をテーマに、ダユンさん（韓国）、ズイさん（中国）、ファティさん（インドネシア）がトーク。



【冠】（韓）1回目の誕生パーティーの占いでその子の将来を予想する。歳の数え方が独特で、出生時を1才とする。誕生日ではなく毎年1月1日に全国民が歳をとる。（中）産婦は産後1カ月間外出、風呂、水に触れるなど多くのことを禁止される。（イ）生まれたら髪を全て剃り、その重さ分の金塊の値段相当額を寄附する。

【婚】（中）ドレスは初婚は白、再婚

自然観光資源の利用や保護の手法を考える時代」と力説。身近な話題として「50年後には大雪山の花畑は半分になる」との分析を挙げ、生態系や希少な共有財産を後世に残すために一緒に考えませんか、と呼びかけました。



後半は参加者に東川の強み／弱みなどを挙げてもらうワークショップ。強みは自然に恵まれ水がおいしいこと、弱みは停電時に水が出ないことなどが挙がりました。

はピンク。結婚後も女性の苗字は変わらない。（韓）結婚式は30分で終了。スマホアプリで招待し、ご祝儀もそれで決済する。結婚後も女性の苗字は変わらず、子の苗字は父母のどちらからもらう。同じ苗字の人と結婚できない制度は廃止された。（イ）宗教上の結婚儀式が必須のため、違う宗教を信仰している人とは基本的に結婚できない。結婚時に男性から女性に贈られる金のアクセサリーは女性固有の財産になるため男性は触れられない。次回は8月25日（日）午後2時から、せんとびゅあIIにて開催します（参加無料）。ぜひ覗いてみてください。